



入船だより

横浜市立入船小学校
校長 中村 公俊
学校だより 3月号
令和8年2月27日発行

1年間で大きく成長した子どもたち

学校長 中村 公俊

今年度も、あと1か月で1年が終わります。この1年間、子どもたちは様々なことに挑戦し、様々な場面で活躍し、そして、大きく成長しました。今号では、1年のまとめとして、各学年の先生から見た、子どもたちの成長の様子を伝えたいと思います。

初めての小学校生活、他学年のお兄さんお姉さん、先生たち、地域の方々、保育園の子どもたち、たくさんの人と関わりながら過ごした1年間でした。それぞれの人たちとどんな風に関わっていったらいいかを考え、様々なアイデアを出し活動してきました。学校に来て、勉強して、友達と仲良く過ごすことで大きく成長し「きらきらはなまる」な1年でした。2年生になってさらに成長していくことを期待しています。(1年)

学級目標「ピカピカ2年生」の4つの光「なかよし・やさしい・えがお・てきぱき」が達成できるように1年間過ごしてきました。どんなときもやる気いっぱい2年生。気が付いたら、さっとお手伝いをしたり、友達のために思って行動したりする姿がたくさん見られました。また、先のことを考えて準備をしたり、やることを先に終わらせたりなどテキパキと行動することも少しずつできるようになってきました。3年生になっても、できることをたくさん増やして活躍して欲しいと思います。(2年)

4月から、クラスのルールを話し合ったり、確認したりして過ごしてきました。言葉で相手に受け入れてもらえるように、「丁寧に」「詳しく」ということを学んできました。学習では、困ったときには「教えて!!」と助け合いながらすすめています。これからも、一層助け合い、新しいものをどんどん作り出して楽しく学校生活を送ってもらいたいと願っています。(3年)

345組は、「元気 仲よし チャレンジャー」を目標に活動してきました。普段の学校生活では、苦手な食べ物に挑戦したり、困っている友だちに優しい声かけをしたりして、自分たちなりに目標に向かって行動する姿がたくさん見られました。また、あゆみ荘での宿泊学習や鶴見公会堂での合同学習発表会などの行事では、自分のことをできるようにがんばろうとしている低学年の子どもたちと、リーダーとしての役割が増えてきた中学年以上の子どもたちが、お互いを支え合っひとつのことに向かっていくことができ、集団としてのまとまりができてきました。子ども達にとって収穫が多くあった一年になりました。次の学年でもそれぞれの役割を果たしてくれることを期待しています。(3・4・5組)

「あきらめないで 心をもやせ! 全力で 何でもチャレンジ! 4-1」の学級目標のもと、全員が様々な活動に挑戦しながら学校生活を過ごしてきました。校外学習や上郷宿泊体験学習、10才を祝う会など、多くの行事や学級活動の中で、子どもたちそれぞれが中心となり、それを実現するために一生懸命に考え、準備し、創り上げてきました。来年度からは高学年となり、全校を相手に活動することが増えてきます。この1年間の経験を生かし、子どもたちがさらに挑戦し成長していく姿を見せてほしいと思います。(4年)

高学年として、委員会やたてわり活動などの中で人の前に立つことが増え、学校全体のことを考えて計画する場面が多くなってきました。自分のことだけでなく、仲間や下級生のことを考えて行動することで精神的にも成長することができました。総合で取り組んだ「小枝プロジェクト」では、グループで相談して、みんなの考えを持ち寄り、ひとつのコンセプトに絞っていく活動を通して、話し合っひとつのものを作り上げる経験ができました。更に、これからの卒業式練習を通して、最高学年になるための気持ちの準備ができたと思っています。(5年)

学年目標「我ら最強学年」を合言葉に、クラスのよさや改善点を自分たちで考え、友達との友情を深める、そして多くの人との関わりを振り返りながら、人のために、自分のために何ができるのかよく考えて行動することを意識した1年でした。最高学年として、学校のみみんなのために考えて行動することを継続して行ってきました。4月と比べると、心も体もぐんと大きくなり、一歩ずつ成長を積み重ねているんだなと感じています。中学生になってからの子どもたちがどんな風に成長し、活躍していくのかとても楽しみです。(6年)